

授業科目名	ジョブ・スキル	単位数	2単位
担当教員名	キャン ヒロユキ	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) お笑い・漫才から会話のテーマ、構築、コミュニケーション、発声等の奥深さに興味を持つ。 (2) 会話のキャッチボールを通して、他者から必要な情報を引き出す能力をつける。 (3) 表現技術を身につける。 (4) 人前で喋る能力を養う。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>現役高校教師であり、現在よしもとの養成所でネタ講師を担当する放送作家が「お笑い・漫才の構成」や、「ツカミ」「コナシ」「オチ」などの表現方法を紹介。また過去の漫才コンテストから、話題の進行・話し方による観客の興味を引く方法を分析し、より興味を引く表現の構成および表現方法を楽しく体験しながら学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:ガイダンス 第2回:お笑いネタ・漫才の視聴 第3回:お笑いの分類として 第4回:お笑いの構成3原則 第5回:テレビ・ラジオ番組の構成 第6回:本質を知り、伝える言葉 ～キャッチコピー～ 第7回:漫才・コントの本質とは? 第8回:「M-1グランプリ」による漫才の変遷・発明 第9回:漫才を作ってみよう① 第10回:漫才を作ってみよう② 第11回:漫才を作ってみよう③ 第12回:漫才を披露しよう① 第13回:漫才を披露しよう② 第14回:総評・より相手の興味をひく表現構成、表現方法とは? 第15回:まとめ 科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p>			
<p>テキスト</p> <p>講義資料を配布する。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>M-1グランプリ2008 2010 2016 2017 2018 2019 別役 実 (2003)「別役実のコント 不条理のお笑いレッスン」白水社、978-4560035795</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)</p>			